



ホームページ <https://www.osaka.shizenha.net/>



【注文専用ダイヤル】フリーダイヤル 0120-408-154

携帯電話(無料通話プランなし) 0570-050-154  
携帯電話(無料通話プランあり)・IPフォン 088-666-3321  
受付時間 ①10:00~21:00 ②~④8:00~21:00 ⑤8:00~10:10

- ① イベントID
- ② 組合員名
- ③ 組合員コード(一般の方は一般)
- ④ 参加人数・参加者氏名
- ⑤ 連絡先
- ⑥ 託児の有/無(託児を設けているイベントのみ)、お子様の氏名・年齢(月齢)・性別

※応募多数の場合は抽選とさせていただきます。抽選後、落選者のみ【⑤連絡先】へご連絡いたします。  
※イベント開始3時間前に気象警報が出ていた場合、中止となります。詳しくはHPをご覧ください。

販売場の名称及び所在地	コープ自然派おおさか
販売場運営責任者の氏名	大阪府済生会済生会済生会
販売場営業時間(受付時間)	無休(年中無休)
販売場営業時間(受付時間)	無休(年中無休)
販売場所在地	大阪府大阪市東淀川区
販売場所在地	門前小浜西側

【組合員サービスセンター】  
フリーダイヤル 0120-408-300  
携帯電話(無料通話プランなし) 0570-063-008  
携帯電話(無料通話プランあり)・IPフォン 088-603-0080  
受付時間 ①~④8:30~20:00



申込受付フォーム QRコード

【申込受付フォーム】  
必要事項を入力していただくと、自動返信にて申し込み内容が入力したメールアドレスに届きます。(携帯電話で送受信をされる方は、パソコンからのメールも受信されるよう設定をお願いします)  
URL: <https://ws.formz.net/fgn/S838906026/>

イベント情報  
ホームページからも閲覧・お申込みできます。

イベントに参加できなくなった場合は、イベント開始までに必ず組合員サービスセンターへご連絡ください。ご連絡いただけない場合は、イベント参加費・材料費・託児費を商品代金と一緒にお支払いいただきます。

イベントID: 07256031 主催: 理事会

## トラクターデモの菅野さんがやってくる！ ～「令和の百姓一揆」と循環のまちづくりについて話そう～

私たちが毎日食べているお米や野菜。その「当たり前」は、これからも続いていくのでしょうか。昨年3月、東京を皮切りに全国に広がったトラクターデモ「令和の百姓一揆」。その背景には、農業や食をめぐる長年の課題があります。26年以上にわたって、市民参加型農業「レインボープラン」を実践し、循環する地域づくりに取り組んできた菅野さんに、農家の現状とこれからの時代に私たちに求められる「循環力」についてお話しいただきます。食べる人も、つくる人も、同じ社会を生きる一人として一緒に未来を考えてみませんか。

- 日時: 3月20日(金・祝) 13:20~15:30
- 場所: エルおおさか 5階 視聴覚室

(大阪府中央区北浜3-14)  
最寄駅: OsakaMetro谷町線・  
京阪電鉄「天満橋駅」



- 講師: 菅野芳秀さん  
講師プロフィール: 農家、米作りと養鶏を営む「菅野農園」で循環型農業を実践する傍ら、大正大学地域構想研究所・客員教授および地域支局(長井市)研究員。2025年「令和の百姓一揆」代表。著書に『七転八倒百姓記 地域を創るタスキ渡し』など。
- 参加費: 組合員300円 組合員以外500円
- 定員: 80名
- 託児: あり(1歳~小学生) 託児申込み締切日: 3/13(金)  
組合員500円/1名、組合員外750円/1名  
子ども(0歳~小学生)の同伴: 可
- 持ち物: 筆記用具
- お切: 3/13(金)

イベントID: 07256032 主催: ビジョンいきる

## ～子どもたちを社会の真ん中に～ 藤原ひろのぶトークライブ

世界のどこかで、今日も「食えること」が叶わない子どもたちがいます。バングラデシュ、ギニア、ネパール—— 発展途上国で起きている“物質的な貧困”だけでなく、実は私たちの身近な場所にも広がっている“心の貧困”という現実。では、日本に暮らす私たちは、その世界と本当に無関係なのでしょうか? 何を選び、何を買い、どんな生き方をしているのか。その一つひとつが、遠い国の誰かの暮らしと、確かにつながっています。このイベントでは、「経済優先」の社会の中で見えにくくなっているものを捉えながら、これからの社会の在り方を一緒に考えていきませんか?

- 日時: 3月15日(日) 13:30~15:30
- 場所: 四季さい館(四季の郷公園内) 2階 研修室  
(和歌山市明王寺85) 最寄駅: 和歌山電鐵 貴志川線 山東駅
- 講師: 藤原ひろのぶさん

- 講師プロフィール: 2015年「NPO法人 NGO GOODEARTH」設立以降、ギニア・ネパールなど発展途上国と呼ばれる国々の貧困問題に取り組み、子どもたちの食糧提供や学校設立、現地雇用を創出するために事業を展開。2017年からスタートした講演会は、国内外にて一般の方から小学校~大学、企業での開催など2千回を超え、延べ5万人が参加。著書『買ひ物は投票なんだ』『ほくらの地球の治し方』『EARTHおじさん46歳』『ほくだったのかもしれない』
- 参加費: 組合員500円 組合員以外750円
- 定員: 50名
- 託児: あり(1歳~未就学児)  
託児申込み締切日: 3/5(木)  
組合員500円/1名、組合員外750円/1名  
子ども(0歳~1歳未満、小学生)の同伴: 可
- 持ち物: 筆記用具
- お切: 3/6(金)



当日の連絡先: 080-8924-1940  
(12:30~13:30のみつながります)

イベントID: 07256041 主催: コープ自然派連合商品委員会

## もっと知りたい! ニッポンの小麦のコト ～畑からお家に届くまで～

コープ自然派は「国産派宣言」を掲げ、日本の農業を守り、食料自給率の向上を掲げています。小麦に関しても、国産小麦・国産有機小麦での商品開発をすすめています。日本全体では小麦の自給率は15%程度にとどまっています。国内で、小麦がどんなふうに着られ、どんなふう製粉されて、商品となって手元に届くのか。その上流から下流までの流れを改めて学んでみませんか。国産小麦を支えるために、まずは知ることから。

- 日時: 3月25日(水) 10:00~12:00
- 場所: オンラインZOOM(アーカイブあり)
- 講師: JAこしみず、横山製粉、岡上食品
- 参加費: 無料
- ※オンラインイベントのためメールアドレスが必要です。  
申込受付フォームにてお申込みください。
- ※アーカイブ視聴をご希望の方は、その旨申し込みの際にお申し出ください。
- お切: 3/18(水)

### イベントは私たち組合員が企画しています。

イベントと一緒に考える仲間を募集しています。月に1度のペースで話し合いをしますので、気軽に見に来てください。

### 3月の委員会カレンダー

日	曜日	時間	会議名	会場
12	木	10:00~12:00	ビジョンくらす	からふる
14	土	9:30~11:30	蛍ブロック	箕面西南生涯学習センター
17	火	10:00~12:00	吹田ブロック	山田夢つながり未来館
18	水	10:00~12:00	桜ブロック	クロスバル高槻
23	月	10:00~12:00	商品委員会	からふるフリースペースうえ
24	火	13:00~15:00	和泉みかんブロック	和泉シティプラザ

日時が変更になる場合もありますので、見学希望の方は、事前に組織企画へ、お問い合わせください。組合員サービスセンターへTELまたは下記メールアドレスにて  
mail: [kikaku07@shizenha.co.jp](mailto:kikaku07@shizenha.co.jp)

2025年 カタログ51号  
提出日...3月9日(月)~3月13日(金)  
配達日...3月16日(月)~3月20日(金)

## 021135 谷農園の野菜セット 1430円

(税込1544円)  
\* 農業は使っていません。  
\* 内容変更になることがあります。



おおさかの組合員の皆さまの食卓へ、三重県の大自然から土の香りとともに美味しい旬の野菜をセットにしてお届けします。

- 3月1回(3/2~3/6お届け) 野菜セット予定  
・人参・こまつな・ほうれん草・ねぎ・大根・リーフレタス等

### 「小さな農家の野菜セット」はお休みします

販売再開までの様子と日々の活動はこちらから! よろしければフォローをお願いします!



# 学校給食で使われた自然栽培米を使って おにぎり弁当を作ませんか♪

## ～お米について知ろう！～

2025年12月4日・5日に環境保全型農業で作られたお米が和歌山市全小学校の給食で実施されたことはご存知でしょうか？ その時のお米を作った1軒の農家さんのお米でおにぎりを作って、おかずも入れて特別な弁当を作って食べませんか？ 農家さんには、お米の作り方や田んぼの生き物の話、農業の色んなお話を聞き取ってみよう♪ \*環境保全型農業…農業の持つ物質循環機能を生かし、生産性との調和などに留意しつつ、土づくり等を通じて化学肥料、農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業

- 日時：3月14日(土) 10:30～13:30
- 場所：北コミュニティセンター 1階 調理室  
(和歌山市直川326-7) 最寄駅：JR阪和線 六十谷駅
- 講師：自然栽培米農家 久保智和 氏

講師プロフィール：自然栽培 農家。和歌山市出身。建築・土木に長年携わり、妻が重度のアトピーを患い今までの生活を様々な点から見直し衣服を変え、食を見直し決意。その経験から自ら安全な食を作ることを決意し、肥料・農薬を使用しない自然栽培に取り組む。2024年に和歌山市学校給食にて和歌山市産有機・自然栽培のお米を学校給食に導入する為の活動グループ「和歌山市環境保全型稲作グループ」を農家や専門家と共に結成。



- 参加費：組合員500円 組合員以外800円 子ども(年少～小6) 400円
- 託児：なし。子ども(0歳～小学生)の同伴：可
- 持ち物：エプロン、三角巾、飲み物、子ども用包丁(必要な方のみ)
- 定員：20名
- 切：3/6(金)

当日の連絡先：080-8924-1938 (9:30～10:30のみつながります)

今年も

## 遺伝子組み換え(GM) ナタネ自生調査にご協力ください！

コープ自然派は毎年GMナタネ自生調査全国活動に参加しています。食用油や飼料用に大量輸入されているGMナタネ(GMセイヨウナタネ)は、港から工場へ輸送中にこぼれ落ち自生し、知らないうちに雑草などと交雑して汚染がひろがっています。全国の汚染状況を調査してその結果を公表し、行政や関係事業者に対して汚染を止める対策を求めています。市民による全国調査は2005年から継続して行っています。また2019年には神戸港にてたくさんのGMナタネが見つかった事をきっかけに、製油会社から調査への協力を得ています。また過去には香川県の坂出港、大阪では堺、高槻、東大阪なども発見されています。2020年には北海道と青森で初めてGMナタネが確認され、2021年は小麦に混ざっていた事が原因でナタネの荷揚げのない港や、2024年は神戸港周辺の運送会社の駐車場からの自生も確認されました。GMナタネ自生調査は、市民がGMに反対できる一つの手段です。反対の声を大きくしていくためにも、ぜひ近辺に咲くナタネの採取にご協力よろしくお願いします。



### 採取方法

- 輸送トラックが往來するような幹線道路や沿道、隣接する駐車場や空き地などに自生しているセイヨウナタネ(特徴：莖や葉が白い粉を吹いたようなものが多く、葉が少し茎を抱く)やセイヨウカラシナ(特徴：葉にしっかりとしたギザギザがある、葉が茎を抱かない)を採取する。はらばらと咲いていることが多い(ぼつんと咲いていること、群生していることもあり)。素手でふれないよう、袋をかぶせて採取する。
- 採取日、採取した住所、目印(道路脇、空き地など)をジップロック等の袋に記載し、採取した葉を数枚入れて冷凍保存する。
- 「GMナタネ自生調査、本部・組織企画画」と明記して配送スタッフに渡す。◆この活動は皆さんからの支援により継続できています。組合員さんからカンパ金により検査キットを購入しています。

## 【報告】 ■ 虫ブロック

### 9/15 タタッと！こんだてセットをつかってみよう



レシピを見ながら、3日分の主菜と副菜をみんなで分担して作りました。各人が手際よく作っていく中、それぞれのやり方の違いを発見するのはおもしろく、わいわいと賑やかな調理実習でした。主要な調味料は瓶で同梱されているので、また次に野菜などをアレンジして作ることもできるし、

レシピを見ながらこんな組み合わせもできるんだ、と新たな発見もありました。掲載が月一でもあり、どんなものだろう？と興味があった献立セット、普段のご飯作りにちょっとした変化をもたらすかもしれません。6品を少しずつ大皿に盛って、贅沢なランチ会になりました。



## 【連合リサイクル委員会からのお知らせ】

今週カタログと一緒に配布している「Table 3月号」と一緒に「保存版リユース・リサイクルリスト」が配布されます。ぜひご覧ください。



## ネパールのカフェタイム

世界最高峰エベレストをはじめ8000m級の山々を抱く神々の国ネパール。そこで美味しいコーヒー豆が育てられていることをご存知ですか？ ヒマラヤ山脈のふもとで自然農法によって栽培された希少な「エベレストコーヒー」。産地の風景を見ながら、香り高いコーヒーと手作りするネパール(ネパールのおやつ)を味わいましょう。カジャを作ってくれるネパール出身の学生たちから、故郷や日本での暮らしなどのお話も聞きたいと思います。ゆったりしたネパールのカフェタイムを楽しみましょう♪

- 日時：3月14日(土) 14:00～16:00
- 場所：カフェ・サパナ 1階  
(豊中市本町3-3-2-101) 阪急宝塚線 豊中駅
- 講師：筒井百合子 さん

講師プロフィール：NPO法人 国際交流の会とよなか(TIFA)の活動としてネパールの孤児院の支援をする中で、ヒマラヤ山脈の麓で育てられた美味しい「エベレストコーヒー」に出会い、2015年のネパール大震災を機に日本で紹介しはじめた。生豆を継続して仕入れることでネパールの村の人々の仕事作りを応援している。

## お菓子作りとお話：ネパール出身の学生2名 (サリナさん、サミクチャさん)

- 参加費：組合員800円 組合員以外1200円 学生(中学生以上)500円
- 定員：12名
- 託児：なし。子ども(0歳～1歳未満)の同伴：可
- 切：3/6(金)

当日の連絡先：080-3542-3401 (13:00～14:00のみつながります)

## 【報告】 ■ピース・レラ

### 9/20 今を戦前にははいけない！(その2) 戦争と教育～わたしたちの暮らしから考える～

- ①多くの人が不安を抱えている社会では強いアピールに弱くなる。簡単に戦争へとつながる可能性がある。今日は「平和」だと言いつけるのか。参加者が感じる「不安」を出し合ってみよう(貼付写真)
  - ②「そもそも日本人は戦争を知っているのか」を2冊の本から引用して問題提起。(清沢潤著『暗黒日記』・伊丹万作著『戦争責任者の問題』) かつての《戦争》も大多数の国民にとっては軍が外でやっている物だった。1944年から1945年にかけて太平洋戦争最終局面で、自分が逃げ惑う事態になってはじめて戦争を体験し、それまで勇ましく美化して語られてきた《戦争》とは違い、惨めな逃げ惑うばかりの物だと知る。それを中国や朝鮮などを戦場に持ってやってきたのだと知る。そのことを戦後大多数の日本人はだまされてきたという。誰に？！ひどい目に遭った人が少なくなってきた今、またもや《戦争》は勇ましい物だと美化して語る中で、起きているのではないかと。正しいかどうかわからない多くの情報の中で、戦争は起ころうと仕方がないもの、避けられないものとなっていないか。
  - ③教育の場に入り込む「自衛隊」 2024年版から『はじめての防衛白書』を防衛省が各小学校に直接配布。中学校では職業体験として自衛隊に子どもたちを送り出すところも増えてきた。コロナ以降受け入れ企業や事業所が激減、新たな受け入れ先を探すにも教師たちが日々の業務に追われ時間をかけられない中、隊員集めに危機感がある自衛隊は災害派遣や女性活躍などを全面に出しながら大勢の人数の受け皿になっている。自身の子どもも職業体験に自衛隊があると知って問題提起し、中止させた方の実体験や現場教師たちの疲弊も明らかにされた。前回参加者から「15歳男子中学生に送られてくる陸自高等工学校進学案内を個人で拒否するにはどうしたらいいか」と問われたことに「18歳・22歳で届く自衛隊への勧誘同様、本人の知らないところで個人情報ややりとりされていることは大きな問題で、その後、茨城県で市民が声を上げ、自衛隊が自治体に個人情報の提供を要することは不適切で、(実際に自衛隊からの謝罪あり)それに伴って提供した自治体の行為は違法だと明確になった」と返答された。
  - ④わたしたちにできること 志水さん「(茨城などのように)声を上げれば、変えられることはある」「すでに反戦ではなく、一人ひとりが“非戦”の意思を持つことが大切」とお話しされた。参加者のみなさんと「自分で考え行動することが大切。様々な意見の違いを超えて意見交換しよう。小さくても、一人ではむずかしくても、そういう場を持って語り合おう。」と思い合えた会でした。
- <参加者の声> ※一部抜粋
- ・講師からの話だけでなく、参加者の声がたくさん聞けたのがよかった。最後に人とつながって、話をして声あげていこうという気持ちになれたかな。
  - ・戦争できる国への準備が着々と進んでいる状況を感じつつ何も言わず仕方がないと感じないようにしている限り、「だまされた」と終わらせてしまった過去と同じあやまちをおかしてしまうことになる。「声をあげること」の大切さを痛感した。違和感を放置しないで考え行動していこうと思う。
  - ・平和の学習会 どうしてもレジェンド世代が多いが理事の方もいてよかった。グランドルールを作りたい。安心して企画に参加したいから。
  - ・“国は戦争をする気満々”の話を聞いて、うっせーと思った。生まれてから”日本は、戦争はしない。こりごりだ。”で育ってきたから。なにが本当なのか今日みたいな場にも参加していいことと思う。
  - ・「声をあげること」「つながること」・・・実際にされている参加者の方に刺激をうけた。一人ではできないけど、いろんな所で仲間を見つけようと思った。
  - ・今の学校現場の状況をはじめて知った。市の状況を調べたい。
  - ・学校の管理、監視体制を、さらに深く知る事ができた。戦争が教育から始まるのかと不安になった。漠然とした不安感と空気感自分の中でなくしていきたい。

## 予告 春休み親子企画！ おいしくなる！そうめんの湯がき方講座♪

- 主催：商品委員会
- 日時：4月2日(木) 10:30～13:00
- 場所：クレオ大阪西 2階 クラフト調理室

※詳しい内容は3月9日～配布のWA52号に掲載致します。(受付開始もWA52号配布以降となります)